



## 北アフリカ地域ニュース

### リビア：ブルガリア医療関係者問題

(1月17日付ロイター通信)

1. リビアにおけるブルガリア医療関係者問題に対する EU の対応。
  - (1) 1月17日、EU 議会は、昨年12月に再度死刑判決を受けたブルガリア人看護師ら6人の解放に向け、リビアへの圧力を盛り込んだ決議案を纏め上げた。同決議案は、18日に投票にかけられる予定であり、EU加盟国に対し、同看護師らの解放がなされない場合にリビアとの関係構築の再考を促す内容となっている。
  - (2) ブルガリア人のクネーバ議員は、リビアが同問題被害者に対する補償及びロッカビー事件の犯人釈放と引き替えに同看護師らの釈放を申し出ていたとの報道に対し、「ロッカビー事件と同問題は関係ない。看護師らの有罪判決には何ら証拠がなく、EUは同問題が取引として利用されることを許さず、譲歩しない」と述べた。
  - (3) 同問題に関し、リビア政府は、裁判所の決定を覆すことのできる、いわゆる高等司法会議での解決の可能性に言及している。又、リビア政府は、イスラム法に基づいて被害者一人当たり1000万ユーロの補償を要求しているが、ブルガリア政府は、有罪判決に対する誤認を認めることになるとしてこれを拒否している。
2. 同問題とロッカビー事件を巡る関連報道。
  - (1) 13日付「クウェイト・ニュース・エージェンシー」は、リビア政府がEU加盟国及び米国に対し、ロッカビー事件の犯人釈放等と引き替えに同看護師らを解放する申し入れを行った旨報じている。
  - (2) 17日付独立系ニュースサイト「Libya Today」は、カダフィ開発基金事務局長が「同問題を巡り、リビア政府が、ロッカビー事件犯人の釈放と引き替えに同看護師らの釈放に向けた協議を行う意向をもっていることを確認しており、同基金もそれに参加する予定である」と発言した旨報じている。
  - (3) 18日付反政府系サイト「Libya Our Home」は、在ブルガリア米国大使が、「同問題とロッカビー事件は無関係である。米国は、ブルガリアの盟友として、同看護師らの解放に向けて可能な限り全てのことを行う」と述べ、又、ブルガリア外相が「同看護師らとロッカビー事件犯人の取引についての協議は受け入れることができない」と述べた旨報じている。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799